

幸せのじかん



朱塗りの本堂が印象的な千光寺は、尾道を代表する観光スポット。
境内にはさまざまな巨石群があり、中でも「玉の岩」はこの寺のシンボル

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの 夕ネまき 新聞

No.567

千光寺公園の桜と尾道水道〈広島県尾道市〉

尾道の街としまなみ海道が見渡せる千光寺公園は、季節になると約1,500本もの桜で埋め尽くされるお花見の名所。「日本さくら名所百選」にも選ばれています。夜には多くのぼんぼりに灯りがとまり※、幻想的な光景が広がります。

※平成28年は3月19日～4月17日

〈信頼される人〉

先日、友人と「自分は周りの人に信頼されているのかな」という会話をしました。自分では一生懸命に相手のことを考え行動していても評価するのは周りの人であり、自分が信頼されているのかはわからないのでは、と。

多くの人は、人と関わりを持ち日々を過ごしていますが、周囲と共に行動する場合は相手の予定や都合を伺ったうえで、自分の都合に照らし合わせ行動に移します。しかし、周りのことを気にせず自分のことだけを考えた行動すれば、周囲に迷惑をかけることもあり、それと同時に信頼を失うことにもつながるのではないのでしょうか。

また、長年培ってきた信頼も何げなく話した言葉から一瞬で失うこともあり、一旦失った信頼を取り戻すには多くの時間を要します。毎日の会話でも、自分本位ではなく周囲に対する心遣いを大切にしたいと思います。

信頼は人が手助けしてくれるものではなく自らが築くもの。信頼されるために生活を送るのではなく、周りに誠意をもって生活を送ることが重要で、結果的に信頼される人間になると思います。信頼されている人の周りには多くの人が集まり、相談や依頼が増えます。「声を掛けられる、頼まれる」ことは信頼されている一つのバロメーターだと、日々誠意をもって人に仕事に接していきたいと思えます。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

日本は
ひろいな
おいしいな

京都府京丹後市 常吉地区 村民をつなぐ 小さな百貨店



常吉へ行き来する人々を見守る平地地藏(高さ約5.3m)は冬の間だけひのきが着せられる



手前には、地元農家から仕入れた野菜、手作りの漬け物やこんにやくなどが。奥には、駄菓子や洗剤などの日用雑貨品。右手はコミュニケーションスペース

暮らしに必要な、百(たぐさん)の貨(商品)があるから百貨店。その言葉に込められた思いがひしひしと伝わってくる、日本一小さな百貨店に出会いました。

京丹後市大宮町常吉地区は、日本三景「天橋立」から10kmほど内陸に入った山あいの村。20年前、約150世帯が暮らすこの村唯一の商店が経営の合理化により閉店を余儀なくされました。

日本一小さな百貨店『つねよし百貨店』

食料品や日用雑貨など日々必要なモノを供給していた店がなくなってしまう…たちまち困ることとは誰もが想像できませんでした。そんな境遇に、普通なら役場に助けを求めるところを、この村の人々は「自分たちのことは自分たちで」とみんまで出資し、新たに村営の商店を開店させたのです。「常吉村営百貨店」の誕生でした。

食料品、洗剤、衣類から電化製品まで3000を超える商品を取り揃えたまさに百貨店だったそうです。ところが、開店から約15年、店を引っ張ってきたリーダーが体調を崩し、またも継続が困難に。

そこに手を挙げたのが、1ターンのこの村に移り住んでいた東田一馬さん。地域再生のコンサルティング会社に勤務していた東田さんは、自身の足元で起こった事態を無視できず、会社を辞め、家族と共にこの店を引き継ぐことを決意。4年前、「つねよし百貨店」と改名し再出発しました。

それを機に、店の改革を始めた東田さん。「以前からここは商店としてだけではなく、人が集まる場にもなっていましたから、それを生かし、もっと幅広い層の人に集まってもらえるようさまざまなイベントを実施しています。例えば、若いママたちにも来ていただ



つねよし百貨店の外観。看板のロゴデザインは京都で活躍中の地元デザイナーによるもの

けることに加え、地域とつながれる拠点として安心も届けているのかもしれない。

京都府京丹後市 常吉地区 幸せな食べ物 × 幸せな風景

精算が終わった後もお客様とおしゃべりは尽きない



常吉のお米は府外からの注文も入る人気商品

けるよう、子どもに店を任せる『子ども百貨店』や、老若男女みんなが楽しめる『コンサート』などの企画に挑戦しました。

他にも、電話注文で商品を家まで届けたり、店頭に並べる商品数を半分以上に絞って代わり、頼まれれば何でも町まで買いに行ったり、お客様のニーズに応えながら合理化を図ったのだそう。

「商品を届けに行くとおしゃべりが始まったり、届けた商品よりもたくさんのお野菜をいただいたり…。つながりを紡ぐ大切な時間です」。百貨店の役割は、モノを届

「幸せな風景」を紹介してくれたみなさん

「つねよし百貨店」の東田さん一家

幼稚園へ通うようせい君は看板キッズ。お店に訪れるお客様を和ませてくれます。イベントは村外の方でも参加大歓迎だそうです。

<http://e-mura.jp/tsuneyoshi/>



丹後ばらずしの作り方

丹後地方でハレの日のごちそうと言えばサバのそぼろが甘くやさしい「ばらずし」。エリアや家庭によって味や飾る具材は少しずつ異なるものの、人が集まる時に出来る点はどこも同じだそう。



材料 (4人分)

米	3合
酒	60cc
酢	60cc
砂糖	100g
卵	3個
いんげん豆	適量
干し椎茸	3個
戻し汁	120cc
だし醤油	60cc
砂糖	大さじ3
酢	小さじ1
サバ缶(味付)	1缶
だし醤油	60cc
砂糖	大さじ4
塩	ひとつまみ
酢	小さじ1
紅しょうが	適量

①の上に③を全体にまんべんなく広げる。



④の上に③を全体にまんべんなく広げる。



5

サバそぼろを覆い隠すように錦糸卵を敷き詰め、彩りを見ながら椎茸、いんげん豆、紅しょうがなどを飾り付ける。

米3合を酒60ccと水で少し硬めに炊き、寿司桶にあげたら酢60ccに砂糖100gを煮溶かした合わせ酢をふりかけ、冷ましながら切るように手早く混ぜる。

具材を仕込む。卵3個分の錦糸卵。いんげん豆は塩ゆでにし、適当な大きさに切る。干し椎茸を水で戻し適当な大きさに切り戻し汁120cc、だし醤油60cc、砂糖大さじ3、酢小さじ1で水分がなくなるまで煮る。

サバ缶の水分を切り、鍋に入れ、ほぐしながら強火で水分を飛ばす。水分が無くなってきたらだし醤油60cc、砂糖大さじ4、塩ひとつまみ、酢小さじ1を加え、焦げ付かないようパラパラになるまで弱火で炒る。

「幸せな食べ物」の作り方を教えてくれた人



おとめ塾 大木明美さん

丹後生まれ、丹後育ち。3人の子どもを育てた料理上手なお母さん。女性の力で地域を盛り上げる「おとめ塾」でも活躍中。

門倉多仁亜の 丁寧暮らし

第八話

暮らしに

自然を

日々の忙しさに流されて、「あなた自身の時間」の大切さを忘れていませんか？
なにげない日常を丁寧暮らしにすることで、人生を有意義に過ごすコツ。シンプルでありながら豊かな暮らしぶりで人気の門倉多仁亜さんと一緒に『丁寧暮らし』について考えてみませんか？

まず、風土を知ること

暦の上では春ですね。みなさんは春の兆しを感じていますか？それとも、まだまだですか？
日本は南北に長いので、地域によって気候も大きく違います。暮らし方もさまざまです。
今回のテーマは「暮らしに自然を」。暮らしに自然を取り入れるなら、まずはその土地の気候風土を知って生かすことが大切ではないでしょうか。夫の郷里である鹿児島に家を建てたのは約6年前。それ以前、まだ鹿児島はどこに住もうかと考えていた頃、義父がある二階建ての家を見て「あれはよそから来た人の家だ」と言うので辺りを見渡してみると、たしかに周りは平屋

ばかり。台風の通り道であるこの辺りでは、できるだけ風の抵抗を受けないようにと、昔から平屋が一般的なのです。先人が残してくれたものには做うべき知恵がたくさん隠されています。最近では便利になりすぎて、それらを見逃しがちですが、地元にある古いものを見直してみると、その土地の風土、自然を生かした暮らし方のヒントがたくさんみつかると思います。

自然素材を使う

できるだけ自然環境に配慮して暮らしたいと思っただけで、家を建てるにあたって自分なりの判断で「なるべく自然素材、できれば地元のもの



を使う」と決めました。運搬の無駄を省くことと、最後には土に還るようにと考えてのことです。
素材を探し始めると、いろいろな発見がありました。ある古い洋館で見た石の回廊にそこがれて、わが家にも似たものがあると、石を探した時に見つけたのが「細山田石」です。地元で切り出されている石で、この辺りでは、よく家の塀に使われています。小さな空気の層がたくさんあって湿気を吸うので、苔などの植物が根付きやすいそうです。
次に見つけたのが「ベンガラ」です。これは、世界文化遺産の島津藩主別邸「仙巖園（せんがんえん）」で見つけました。土から採れる酸化鉄で、顔料として陶器や漆器などに使われます。防虫・防腐効果があるらしく、仙巖園では漆喰に混ぜて、廊下の壁に塗られていました。最後は「柿渋」。地元の杉で作った外壁に、塗料として使いました。渋柿の液汁をしぼり発酵させたもので、昔から木製品や傘、布などに使われていたものです。2年に1度



鹿児島の門倉邸。地元の先人に倣って平屋建てに

塗り直さなければならず、面倒ですが、やはり自然素材であることが第一に選びました。わが家の細山田石を使った敷石にも、6年経ってほとんど苔が生えました。外壁も少し古びてきて、見ようによつては汚くなつたとも言えます。しかし私は、風景に馴染んできた気がして、気に入っています。家に限らず、家具でも雑貨でもこつこつとした表情の変化こそ、自然素材の魅力だと思っています。

自然の恵みを受ける

朝はまずダイニングで朝日を浴びながらコーヒーを飲みます。
次に窓や扉を開けて空気を入れ替えます。鹿児島は高温多湿。すぐに湿気が溜まるので、風が家中を通り抜けるよう、日本家屋の欄間のようにドアの上に通気窓を作りました。

花はよく飾ります。花屋で買って来た立派な花より、野原に咲いているような素朴な



庭の畑で咲いていた花



ドアの上に通気用の窓

花が好きです。色とりどりの花にミントの葉を差し入れると、緑の彩りが鮮やかなだけでなく、さわやかな香りがして自然のアロマにもなります。
最近、東京のいつもの道を歩いていると、以前は見過ぎていた素敵な垣根やかわい草花が目にとまるようになってきました。鹿児島に家を建て、庭を持つてからです。東京に居ても、意識ひとつで道に咲く花に気付くことができ、自然を感じるの

きるのですね。



ほどよく苔生した細山田石の敷石



漆喰にベンガラを混ぜて塗った廊下の壁



柿渋を塗った杉の外壁

Profile

門倉 多仁亜さん (かどくら たにあ)

1966年生まれ。料理研究家。日本人の父とドイツ人の母を持つ。日本、ドイツ、アメリカなど転々と移り住み、帰国後はじめた料理教室が人気に。現在は東京を基盤に月に一度、自宅のある鹿児島へ帰る暮らしを続けている。著書に「ドイツ式心地よい住まいのつくり方」(講談社)などがある。



伊勢神宮とネックレス

福岡県春日市 井上智貴子さん

1泊2日で夫と伊勢神宮に初めて参拝しました。夫が再就職して約1年。慣れぬ仕事に悪戦苦闘しながらも頑張っています。また、末っ子(次女)に無事に子ども(私にとっては初孫)が生まれましました。そついったこともあり、夫と「いい機会だから」と思い立ちました。

内宮でお参りしている時、それまでまったく無風だったのにスーッと風が吹きました。そして私たちを包み込むように通りすぎて行きました。不思議な感覚を味わいました。

夫が「せつかく伊勢に来たのだから、日頃の感謝を込めて」と、真珠のネックレスをプレゼントしてくれたのが嬉しくてたまりませんでした。

＊ 神様がご主人に耳打ちしたのかも。



二人からの手紙

愛媛県松山市 大城友紀さん

わが家には、小1の娘と年少の息子がいます。娘は早い時期から文字に興味を持ち、日頃から家族みんなにイラストを添えて手紙をくれます。

息子はまだ文字が書けません。ある日、息子が娘に「ぼくの代わりにお手紙書いて」と、何やら二人でコソコソ。後から息子が「ぼくからのお手紙」と言いながら、イラスト付きの「おかあさん大好き。〇〇より」と書かれた手紙をくれました。毎日叱るばかりの私に、二人で手紙をくれたことに嬉しさと反省の入り混じった気分でした。

あれから、娘の弟への平仮名読みの厳しい訓練がはじまっています。二人とも忍耐強く頑張っている、と心の中で応援しています。

＊ 仲良し姉弟からの嬉しいお手紙です。



お経

岡山市北区 成田多津子さん

先日、私の主人の葬儀の時、住職がお経を唱えていると、3歳の孫娘が「あれは何という歌なの?」と質問。

お経だと教えると、お経が終わると「お経のお歌は終わったの?」と大きな声。参列者一同、顔を見合せて大笑い!何とも子どももの発想には癒されます。

孫娘は「おばあちゃん、大きくなったら何になりたいの?」と言う。苦笑いして「大きくなりすぎたわー」と私。あーあ、もう一度子どもになりたいなあ。こんなかわいい孫に毎日癒されて、主人が亡くなったとはいえ淋しくありません。

＊ きつとご主人も天国で笑っておられますよ。

燈々無尽

自己放棄

どれだけ、自分が役に立ったらどうか? どれだけ、多くの人に、喜んでいただけただか? エゴイズムの自己放棄が出来たか? どれだけ、相手の人のプラスのことをしてあげたか 人間成長を 限りなく追求してゆきましょう。

人間は生まれ変わることができない。 自分のためとは 人のためにつくす事だ!

他人のために、 させていただくことで、 一番徳をつむのが自分である。

鈴木清一



旅立ち

石川県白山市 奥野八重さん

山口県の高校へ進学することになった孫。15歳でもう親元を離れ寮生活をするという。サッカー選手になりたいという夢を叶えるため、ずっと頑張ってきたのです。それが叶うかもしれせん。

でも、私はまだ子どもなのに戸惑うばかり。そんな気持ちも知らず、入学式を待たずに山口へ旅立ちました。「オレ、頑張るから...」と言って。

それからの私は、スーパーへ行ってもあの子の好きだったものをみては涙。残して行った靴や服をみては涙。メールが届くと号泣。しばらくはこんな日が続くと思います。写メで届いた孫の顔は満面の笑み。いつか必ず山口へ行こうと心に決めています。それまで健康でいなくては。

＊ 将来が楽しみです。どうぞ笑顔で応援を!



あたたかい気持ち

茨城県稲敷市 無藤和美さん

先日、スーパーに買い物に行った時のこと。隣で袋詰めしていたおばあさんと、ひよんなことから話をするようになりました。

話を聞くと、1時間半くらい歩いて来たそう、今日みたいに天気の良い日じゃないと買いたい物に來られないとのこと。たまたま私と帰り道が同じだったので、車に乗せて家まで送ってあげました。

着いた時のそのおばあさんの喜びようはありませんでした。たくさん涙を流して、こんなに優しい方と知り合っただけ良かったと言ってくれました。

その時の私の感動は、まさに春の日差しのように、あたたかい気持ちにさせてもらいました。

＊ 喜ばれて、感動して。あたたかい話です。



ひいばあちゃんの宝物

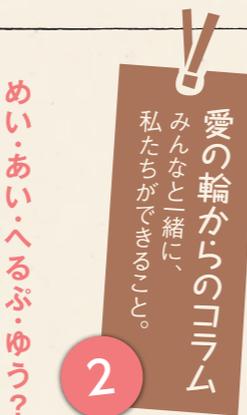
福島県いわき市 根本ミサ子さん

嫁いだ娘の長男が、ひいばあちゃんへ渡してとお土産をくれた。「いつもありがとう。陸上の100m走で県大会に出場して福島市まで行ったので、お土産です」という手紙が入っていた。

それを受け取ったひいばあちゃんは、友だちに話したり嬉しさを隠しきれない様子だった。その後、ひいばあちゃんの部屋に行ってみたら、テーブルの上にお土産の菓子とともに、まるで宝物のように飾ってあった。

92歳になってひ孫からもらった手紙は、本当に宝物なんだと思ひ、孫に電話すると「自己ベスト出したから」と、満足そうな孫の弾んだ声が返ってきた。

＊ 嬉しさいっぱいの姿が目には浮かびます。



愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

愛の輪からのレター

みんなと一緒に、 私たちができること。

2

めい・あい・へるぶ・ゆう?

愛の輪基金は、ダスキン創業家・鈴木清一の「めい・あい・へるぶ・ゆう?」(何かお手伝いできることはありませんか?)の精神で、障がいのある人の自立と社会参加を支援しようとして、1981年に設立されました。以来、35年にわたり日本やアジア各地の障がい者リーダー育成のお手伝いを続けています。誰かのために少しでもお役に立ちたい。

そんな心の輪を広げていき、みんなが心豊かに暮らせる社会を目指して活動しています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。

☎ 06-6821-5270 http://www.ainowa.jp/

あなたのお便りや写真をお寄せください。

みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

奈良県三郷町
鈴木安子さん

見る人
みんなを
笑顔に!



僕、高校1年
弟、小学1年

大阪市東住吉区
亀井富貴子さん



あ!
見つけた!

千葉県松戸市
中野ふさえさん



香川県三豊市 立川昌美さん

広島県呉市
峠越初枝さん

みてもらおう!

見てうれし、見せてうれし。
あなたのお気に入りの1枚を送ってください。

ママと一緒に
ネネネ...

空だって
飛べちゃうかも



No.419からのバックナンバーが
下記のアドレスからご覧になれます。

<http://www.duskin.co.jp/tanemaki/>

デー・デュ・エト
Duet
DUSKIN MEMBERS SITE

ダスキンがあなたにお届けする
便利でおトクな
使える情報サイトです。

アクセスはコチラから

dduet

<https://dduet.duskin.jp/>



この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報の取り扱いについて】
お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

ダスキンコールセンター
0120-100100 www.duskin.co.jp